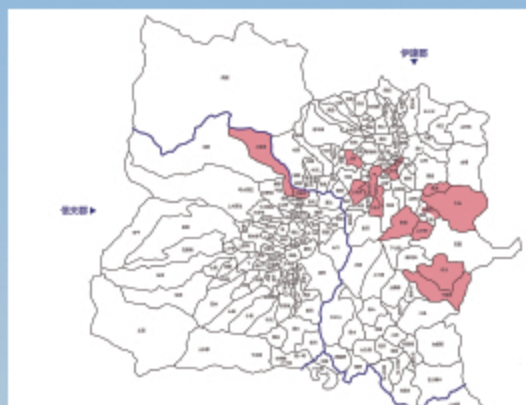




白河藩（松平・阿部氏）分領・保原陣屋支配地



保原城跡

「保原城は、戦国時代に伊達氏の家臣中島伊勢(中島宗定)が居城したと伝えられています。後に、上杉景勝の家臣が居城し、城ノ内・鉄地町などの地名は、城下町の名残です。寛文4(1664)年に天領となり、保原城は廃城となりました。」



調査区集約全景（保原城跡V）※(右上「保原城跡」に印あり)

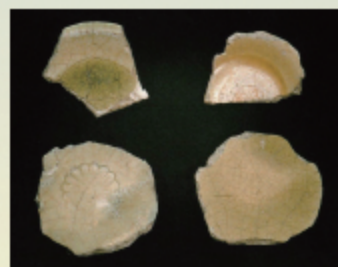


保原陣屋の略図と写真（明治時代）



『会所記録』

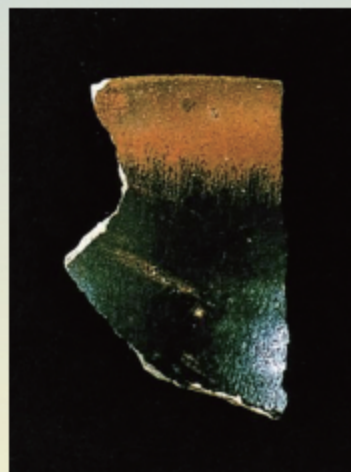
「文政6(1823)年9月の保原陣屋内の年番会所の記録です。陣屋敷内には、年番会所があり、各村名主の代表2名が常駐していました。穂田村名主万五郎・上保原村名主豊四郎の2名です。」



古瀬戸小皿（保原城跡V）



中世陶器大甕（保原城跡VI）



天目茶碗（保原城跡V）